






社会貢献・環境活動

笑顔広がる社会・環境のために

少子高齢化・環境保護等、現代社会にはさまざまな課題が存在し、質・量ともに多様化してきている中で、これらの課題を行政だけで解決することは難しくなっています。社会の課題に対して、第一生命は企業市民としてより良い社会を形成するために、さまざまな取り組みを展開していきます。

読者からの声

-  (20代 女性) 海外での社会貢献活動の様子を詳細に知りたい。
-  (40代 男性) 東日本大震災のその後の取り組みが気になる。
-  (20代 男性) もっと第一生命の支援を受けた実際の方々のインタビューを載せてほしい。お客さまや、いろいろな関係者の声が聞きたいと思いました。

①インドでの干ばつ被災支援 ②タイでの洪水被災地で活動する社長をはじめとしたオーシャンライフ社 職員 ③オーストラリアTAL社による介助犬育成事業 ④気仙沼市唐桑地区での東日本大震災復興支援 ⑤タイでの洪水被害を受けた学校の修復支援 ⑥ライフサイクルゲームIIを用いた学校向け出張授業の様子



E・S・G 資産運用分野におけるE・S・G行動原則 「E・S・G 三本の矢」

当社は、約30兆円の資産を運用する機関投資家として、安全性・収益性だけでなく社会性・公共性にも配慮した資産運用に努めています。近年、環境 (Environment)・社会 (Society)・ガバナンス (Governance) を考慮した投融資への世界的な関心が高まる中、当社では「E・S・G」の視点を盛り込み、政府の成長戦略への貢献を目指して独自に策定した行動原則(「三本の矢」)を実践しています。

“E”の矢 ～環境・インフラ分野への投融資の積極化

中期経営計画期間である2013年～15年の3年間で成長分野へ最大1,500億円の投融資を行い、その柱の一つとして環境・インフラ分野への投融資を拡大することとしています。最近では、社会的要請が高まっている電力安定供給への貢献を目的として、国内の電力エネルギー事業(メガソーラー等)へ2013年度において100億円超(2013年8月時点)の投融資の実行を決定しています。こうした事業への投融資は、社会・経済的な意義のみならず、投資対象としても景

気変動の影響を受けにくく、長期にわたり安定した収益を期待できるため、中長期の資産運用を志向する生命保険会社にとって、新しい資産運用手段の一つとしても注目しています。

今後も電力エネルギー等の環境・インフラ分野へ積極的に資金供給を進め、国内社会・経済の持続的な成長・発展に貢献していくとともに、民間資金の活用ニーズが高まっている世界各国のインフラ整備案件への投資の検討を進め、機関投資家としての本来機能を発揮したいと考えています。

2013年8月までの主な投融資事例(2013年度)

分野	金額	投融資形態
バイオマス発電事業	30億円	ローン
メガソーラー(大規模太陽光発電)事業	計43億円	ローン
メガソーラー(大規模太陽光発電)事業	5億円	エクイティ投資
火力・再生エネルギー事業	30億円	PEファンド

“S”の矢 ～ダイバーシティのさらなる推進

当社では、女性の活躍推進等の「ダイバーシティ&インクルージョン」に取り組んでいますが、2010年に開始したSRI(社会的責任投資)株式ファンドの運用*においても、投資先企業抽出のための評価指標の一つとして、企業における「女性の活躍推進状況」(役職者の女性比率、育児休業取得者率等)を重視しています。2013年度には当該ファンドへの投資金額を当初の10億円から30億円に増額するとともに、ファンド名称を「ESGファンド」に改めた上、ダイバーシティ推進関連の評価指標のウェイトを引き上げており、こうし

【当社ファイナンス案件の一例】
清水建設グループ 赤穂太陽光発電所
(完成イメージ)



た取り組みを通じ、政府の成長戦略でも強く提唱されている「女性が活躍しやすい職場環境作り」に貢献したいと考えています。

*当該ファンドは国内上場株式を投資対象としてインハウス運用(外部に委託しない自家運用)を行うものです。

“G”の矢 ～投資先企業のコーポレート・ガバナンス向上

2兆円超の国内株式を保有する機関投資家として、投資先企業のコーポレート・ガバナンス向上につながる取り組みを積極的に行っています。

企業価値向上の余地が大きい企業や不祥事が発生した企業等に対して、日常的な対話や株主総会議案への議決権行使を通じて、持続的成長のサポートを行うこととしています。機関投資家の果たす役割への社会からの期待が年々高まっていますが、当社はそれらに応えるべく、今後も投資先企業のガバナンス強化に資する対応を進めていきます*。

*当社は株式投資を行う部署に10人超の株式アナリストを配置し、企業の成長力、E・S・G等、さまざまな観点から上場企業の調査・分析を行っています。なお、議決権行使の方針については当社Webサイトで公表しています。

少子化問題の解決に向けて

ライフスタイル・就労環境の変化に伴い、待機児童数の増加は深刻な社会課題になっています。その中で第一生命は、機関投資家として保有する多くの不動産物件を活かし、この課題解決に向けて保有不動産への保育所誘致に取り組んでいます。

保育所誘致は、自治体ならびに保育所運営会社との協議や、保育所設置に向けた設備面での対応、すでに入居しているテナントへの配慮や安全対策工事等、通常のテナント誘致とは異なる点に注意する必要がありますが、順次整備を進めてノウハウを蓄積しています。2013年4月時点で首都圏に6つの保育所を誘致・開園し、合計で約260名の待機児童を受け入れることができています。

また、2013年4月1日付で発足した第一生命財団は、豊かな次世代社会の創造に寄与することを目的に、少子高齢化社会において健康で住みやすい社会の実現に向けて調査研究・助成等を行っています。その取り組みの一つとして、新設の保育所および認定こども園に対する助成事業を開始し、保育所施設数の増加・保育の質の向上に貢献しています。

写真：田端ASUKAタワーにて(株)ポピンズが運営する保育園の様子

待機児童受入れ人数

物件名	所在地	保育所名	定員
幕張テクノガーデン	千葉県千葉市	アスク海浜幕張保育園	59
中野本町第一生命ビル	東京都中野区	幼保園ベビーサロン新中野	30
大森ベルポートE館	東京都品川区	アスク南大井保育園	70
新高円寺第一生命ビル	東京都杉並区	ピノキオ幼児舎新高円寺園	28
田端ASUKAタワー	東京都北区	ポピンズナーサリースクール田端	40
東京スクエアガーデン	東京都中央区	キッズスクウェア東京スクエアガーデン	30
合計			257



杉山千紗さま
田端ASUKAタワーにて(株)ポピンズが運営する保育園をご利用

第一生命の取り組みに期待しています

2013年4月の開園のタイミングで「ポピンズナーサリースクール田端」に入所しました。入所前は、いろいろな保育所を見て回り、設備や保育士さんのレベルの高さ、そして立地の良さを考慮してこの(株)ポピンズが運営する保育所に決めました。利用し始めて1カ月ですが、駅に近くて利便性が高い上に、保育士さんの対応も良く、すべての面で満足しています。私の娘は1歳クラスで、運よくスムーズに入所することができましたが、知り合いの中にはなかなか保育所が見つからず、苦労されている方もいらっしゃいます。中にはやっと入所できても、自宅から遠く、交通の便が悪いために車で毎日送り届けている方もいらっしゃいます。

まだまだ保育所へのニーズは高いと思いますので、より多くの方がサービスを受けることができるよう、是非とも第一生命には場所の提供をはじめとして保育所支援事業にも引き続き取り組んでいただきたいと思います。

震災復興支援ビジネス商談会の開催

東日本大震災の発生から年月が経過しましたが、被災地では課題が未だ山積みの状態です。その中で、当社は震災後、東北の復興のために何ができるかを考え、さまざまな支援活動を展開してきました。

その活動の一つとして、仙台総合支社では「ビジネス商談

会」を開催しました。この商談会では、被災した地元企業を支援するため、大手企業とのビジネス面での橋渡しを目的に2013年4月までに計4回開催し、延べ1,517社、2,038名のお客さまにご参加いただきました。



海外での社会貢献活動

当社グループは、海外においてもさまざまな社会貢献活動を展開しています。

日本の生命保険会社として初めて進出したベトナムでは、第一生命ベトナム社と協働し、白内障治療の無償提供に取り組んでいます。このような活動が経済活動とともに評価され、第一生命ベトナム社は国の発展に寄与した外資系企業を表彰する「ゴールデンドラゴン賞」を5年連続で受賞しています。

またオーストラリアでは、TAL社が、介助犬育成や乳がん研究支援イベントへの協賛を行い、幅広い分野で社会貢献に取り組んでいます。

さらに、自然災害が多いアジア地区においては、復興支援にも積極的に取り組んでいます。2013年に深刻な干ばつ被害に見舞われたインドでは、スター・ユニオン・第一ライフ社が食料や水の無償提供を実施しました。

そして2011年にタイで起こった記録的な大洪水に対しては、オーシャンライフ社が被災地域の小学校に備品支援を

するとともに、校舎の塗装や植樹等、学校の修復作業も行っています。さらに、当社と協力してインターンシップ制度を導入し、教育支援を実施しています。

